

第 58 回錯体化学討論会 講演申込者・参加者 各位

本討論会では 8 つのシンポジウム、錯体化学会国際賞受賞講演、錯体化学会学会賞受賞講演、錯体化学会貢献賞受賞講演、研究奨励賞受賞講演、約 700 件の一般研究発表、関係企業による展示等が行われます。討論会の事務手続きをスムーズに行うために、以下の【1】～【5】についてよくご確認のうえ、それぞれの期限までに手続き・提出をお願い致します。

要旨原稿 Web 投稿期限：8 月 1 日(金) (必着)

予約参加 Web 登録期限：8 月 1 日(金) (必着)

参加登録料振込期限：8 月 4 日(月)

学会開催日：9 月 20 日(土)～22 日(月)

会場：金沢大学・角間キャンパス

(金沢市角間町)

上記期限までに振り込めなかった場合は、郵便振込みを行わず、学会当日に受付で現金でお支払い下さい。現金と引き換えに登録票等をお渡し致します。

尚、郵便振込用紙は所属研究室宛にまとめてお送りしました郵便振込用紙をお使い下さい。

- 【1】 参加登録
- 【2】 要旨集原稿の作成と Web 投稿
- 【3】 宿泊と交通
- 【4】 日程表とプログラム
- 【5】 発表形式

【1】 参加登録 (郵便振込用紙をお使いください)

本討論会に参加される方は**錯体化学会 HP (<http://sakutai.ims.ac.jp/jsc/>) を経由して参加登録を行った上**、登録料を下記の要領で送金して下さい。振込用紙通信欄には、参加登録完了直後に電子メールで返送される**参加登録番号(58 から始まる 6 桁の数字)を必ず記入して下さい。**参加登録、要旨集、懇親会参加は原則として予約制とし、当日登録はやむを得ない方だけに限定させていただきますので、できるだけ予約申込にご協力下さい。特に、一般講演をされる方は必ず予約参加登録をしていただくようお願い致します。

登録料： 錯体化学会会員 (錯体化学若手の会会員を含みます) または日本化学会会員 (学生会員を含みます)

一般：予約 4,000 円 (当日 5,000 円)

学生：予約 3,000 円 (当日 4,000 円)

錯体化学会または日本化学会会員の方は、Web 登録時に必ず会員番号を記入願います (学生会員の方は「学生」と記入)。記入のない場合は、非会員として取り扱わせていただきます。

非会員

一般：予約 6,000 円 (当日 7,000 円)

学生：予約 4,000 円 (当日 5,000 円)

要旨集： 予約 3,500 円 (当日 5,000 円)

要旨集の事前郵送希望の場合は送料 1 冊につき 1,000 円

懇親会： 予約 6,500 円 (当日 8,000 円) 9 月 21 日(日)、18:45 から開催

KKR ホテル金沢 (討論会会場から送迎バスを運行)

送金には、郵便振替用紙(1人1枚使用、加入者名:錯体化学討論会、口座番号:00830-3-61679)をご利用下さい。なお、振込み手数料は申込者負担となっておりますので、ご注意ください。参加登録料振込期限は8月4日(月)です。予約者には9月上旬に登録票、プログラム引換券、要旨集引換券、懇親会入場券等をお送りします。また、希望者への要旨集の発送は9月5日(金)頃の予定です。また、要旨集の発行日も9月5日(金)を予定しています。特許等の申請に際してはご留意下さい。

【2】要旨集原稿の作成と Web 投稿

講演要旨投稿のため、講演番号とパスワード付き URL を、7月初旬に申込時の電子メール宛にお知らせいたします。メールに添付されたリンクより「講演要旨投稿」ページにアクセスし、**8月1日(金) 24:00**までに**必ず PDF 形式ファイル**で投稿して下さい。講演要旨を作成する際には、錯体化学会 HP より**雛形ファイル**(sakuto_temp_jp.doc(日本語)、または sakuto_temp_eng.doc(English))をダウンロードしてご利用下さい。執筆上の注意事項については、雛形ファイルの中に記載がありますので、ご参照下さい。投稿した PDF ファイルは**8月1日以降は修正できません**ので、投稿前に Adobe Reader または Adobe Acrobat シリーズ (<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/>) を使って印刷し、書式や図のクオリティー等を必ずご確認ください。**今年度より、講演番号は各自で記載して頂くこととなりましたのでご注意ください。**

なお、プログラムはホームページでご覧いただけます。

【3】宿泊と交通

宿泊と会場までの交通は各自でご手配願います。主催校 Web ページ (<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/index.html>) のリンク等もご参照ください。連休と重なりますのでお早めにご予約下さい。

《金沢(金沢駅)への交通》

東京方面から

1) 飛行機利用 羽田 - 小松

1日11便 1時間

※小松空港 - 金沢駅連絡バス(約40分)があります。

2) JR利用 東京 - 金沢

上越新幹線、はくたか(ほくほく線経由) 3時間40分

上野 - 金沢 寝台特急北陸・夜行急行能登 8時間

3) 高速バス利用 新宿駅 - 金沢

1日4~8便 7時間25~55分

高速バス利用 東京駅 - 金沢

1日1便 8時間30分

※東京方面からの高速バスは東京駅や新宿駅以外に八王子駅、横浜駅からも出ております。

詳細は「北陸鉄道」または「西日本JRバス」のホームページをご覧ください。

北陸鉄道：<http://www.hokutetsu.co.jp/unko/highway/highway.htm>

西日本JRバス：<http://www.nishinihonjrbus.co.jp/>

大阪/京都方面から

1) JR利用 大阪 - 京都 - 金沢

特急サンダーバード・雷鳥 2時間30分

2) 高速バス利用 京都 - 金沢

1日5便 4時間

3) 高速バス利用 大阪 - 金沢

1日7便 4時間50分

名古屋方面から

1) JR利用 名古屋 - 金沢

特急しらさぎ 3時間

2) 高速バス利用 名古屋 - 金沢

1日10便 4時間

《金沢大学への交通》

1) シャトルバス利用：討論会期間中は、討論会会場（金沢大学自然研）まで、金沢駅発着（香林坊、兼六公園下経由）のシャトルバス（金沢駅-会場：所要約 35 分程度）を用意します。詳しい運行スケジュール（料金、発着時間、バス停など）は、後日主催校 Web ページに掲載します。

2) タクシー利用：料金の目安、金沢駅-会場まで小型車で約 3,000 円程度

3) 車利用：車で会場に来られる方は、約 300 台駐車可能な来客用駐車場がありますので、そちらをご利用下さい。尚、駐車する場合には駐車許可証が必要となります。駐車許可証は当日、総合受付で発行いたします。

*** 駐車許可証なしで駐車している場合、駐車違反ポール取付の対象となります。お気を付け下さい。駐車に関する情報の詳細は9月初旬に主催校 Web ページに掲載します。**

【4】日程表およびプログラム

シンポジウムは第1日目夕方に、錯体化学会総会は第2日目夕方に開催されます。国際賞、学会賞および貢献賞受賞講演は第3日目午前に、研究奨励賞受賞講演は第3日目午後に開催されます。

プログラムは錯体化学会 HP（<http://sakutai.ims.ac.jp/jscc/>）及び開催校 HP（<http://chem.s.kanazawa-u.ac.jp/j/news/sakutou/sakutou58.html>）のリンクに掲載してあります。

討論主題

A：錯体の合成と性質

B：錯体の構造と電子状態

C：錯体の反応

D：有機金属錯体

E：生物無機化学

F：錯体の機能と応用

シンポジウム

- S 1 : ヘテロ元素架橋多核サイトでの特異な反応性
- S 2 : レドックス金属錯体が拓く未来化学
- S 3 : 高分子で魅せる錯体化学
- S 4 : New Paradigm of Bioinorganic Chemistry (英語セッション)
- S 5 : New Trends of Photofunctional Metal Complexes (英語セッション)
- S 6 : 希土類錯体：未踏配位化学の探求と機能創成
- S 7 : 環境負荷低減のための放射性有用元素の分離回収とその利用に関する錯体化学研究
- S 8 : 次世代の錯体化学を指向した分子構造の精密制御

討論会日程表

日付	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
9月20日(土)	Aa	錯体の合成と性質A (1Aa01~1Aa09)				ポスター発表 (1PA001~1PF036) 奇数番号: 12:50-13:50 偶数番号: 13:50-14:50	錯体の合成と性質A (1Aa14~1Aa17)				S 1 : ヘテロ元素架橋多核サイトでの特異な反応性 S 2 : レドックス金属錯体が拓く未来化学 S 3 : 高分子で魅せる錯体化学 S 4 : New Paradigm of Bioinorganic Chemistry (英語セッション) S 5 : New Trends of Photofunctional Metal Complexes (英語セッション) S 6 : 希土類錯体：未踏配位化学の探求と機能創成 S 7 : 環境負荷低減のための放射性有用元素の分離回収とその利用に関する錯体化学研究 S 8 : 次世代の錯体化学を指向した分子構造の精密制御			
	Ab	錯体の合成と性質A (1Ab01~1Ab09)					錯体の合成と性質A (1Ab14~1Ab17)							
	Ac	錯体の合成と性質A (1Ac01~1Ac09)												
	Ba	錯体の構造と電子状態B (1Ba01~1Ba09)					錯体の構造と電子状態B (1Ba14~1Ba17)							
	Bb	錯体の構造と電子状態B (1Bb01~1Bb09)												
	C						錯体の反応C (1C14~1C17)							
	Da	有機金属錯体D (1Da02~1Da09)					有機金属錯体D (1Da14~1Da17)							
	Db	有機金属錯体D (1Db02~1Db09)												
	Ea	生物無機化学E (1Ea01~1Ea09)					生物無機化学E (1Ea14~1Ea17)							
	Eb						生物無機化学E (1Eb14~1Eb17)							
Fa	錯体の機能と応用F (1Fa01~1Fa09)				錯体の機能と応用F (1Fa14~1Fa17)									
Fb					錯体の機能と応用F (1Fb14~1Fb17)									
9月21日(日)	Aa	錯体の合成と性質A (2Aa01~2Aa09)				ポスター発表 (2PA001~2PF036) 奇数番号: 12:50-13:50 偶数番号: 13:50-14:50	錯体の合成と性質A (2Aa14~2Aa17)				総会	懇親会 於:KKRホテル金沢		
	Ab	錯体の合成と性質A (2Ab01~2Ab09)					錯体の合成と性質A (2Ab14~2Ab17)							
	Ac	錯体の合成と性質A (2Ac01~2Ac09)					錯体の合成と性質A (2Ac14~2Ac18)							
	Ba	錯体の構造と電子状態B (2Ba01~2Ba09)					錯体の構造と電子状態B (2Ba14~2Ba18)							
	C	錯体の反応C (2C01~2C09)					錯体の反応C (2C14~2C15)							
	Da	有機金属錯体D (2Da01~2Da09)					有機金属錯体D (2Da14~2Da18)							
	Ea	生物無機化学E (2Ea01~2Ea09)					生物無機化学E (2Ea14~2Ea18)							
	Eb						生物無機化学E (2Eb14~2Eb18)							
	Fa	錯体の機能と応用F (2Fa01~2Fa09)					錯体の機能と応用F (2Fa14~2Fa18)							
	Fb	錯体の機能と応用F (2Fb01~2Fb09)					錯体の機能と応用F (2Fb14~2Fb18)							
9月22日(月)	Aa	国際賞講演	学会賞講演	貢献賞講演	研究奨励賞講演1	錯体の合成と性質A (3Aa10~3Aa13)								
	Ba					錯体の構造と電子状態B (3Ba10~3Ba12)								
	Bb					錯体の構造と電子状態B (3Bb10~3Bb12)								
	C					錯体の反応C (3C10~3C13)								
	Da					有機金属錯体D (3Da10~3Da13)								
	Ea					生物無機化学E (3Ea10~3Ea12)								
	Eb					生物無機化学E (3Eb10~3Eb13)								
	Fa					錯体の機能と応用F (3Fa10~3Fa13)								
Fb	錯体の機能と応用F (3Fb10~3Fb13)													

【5】発表形式

《1》講演番号

お申し込みいただいた発表の講演番号はメール及びホームページに掲載のプログラムの通りです。口頭発表の講演番号は講演日、討論主題番号および時間帯を表しています(シンポジウム、受賞講演を除く)。例えば、講演番号 1Aa02 は「第1日目、Aa 会場(討論主題 A)、9時20分に始まる発表」を意味します。口頭発表の時間帯は下記の通りです。

講演番号と講演開始時刻

第1日目 [9月20日(土)]

番号	01	02	03	講演準備 (5分)	04	05	06	講演準備 (5分)	07	08	09
開始時刻	9:00	9:20	9:40	10:00	10:05	10:25	10:45	11:05	11:10	11:30	11:50
番号	14	15	16	17							
開始時刻	15:00	15:20	15:40	16:00							

第2日目 [9月21日(日)]

番号	01	02	03	講演準備 (5分)	04	05	06	講演準備 (5分)	07	08	09
開始時刻	9:00	9:20	9:40	10:00	10:05	10:25	10:45	11:05	11:10	11:30	11:50
番号	14	15	16	講演準備 (5分)	17	18					
開始時刻	15:00	15:20	15:40	16:00	16:05	16:25					

第3日目 [9月22日(月)]

番号	10	11	12	13
開始時刻	13:40	14:00	14:20	14:40

ポスター発表の講演番号の最初の数字は、第1日目または第2日目の区別を示し、以降はポスター発表(P)、討論主題(A~F)および各主題内のポスター発表の通し番号を表しています。プログラムの詳細は、錯体化学会ホームページをご覧ください。

《2》口頭発表

- 1) **すべての口頭発表は液晶プロジェクターを使用します。** PowerPoint 等のプレゼンテーションソフトを使って発表原稿をご用意ください。(やむを得ず OHP を使用される場合は予めご連絡下さい。連絡先: sakuto58@cacheibm.s.kanazawa-u.ac.jp)
- 2) 講演時に使用する**コンピュータは各自でご用意ください。** 3~4 講演毎に、講演準備時間を 5 分間設けてあります。講演者はこの間に各自のコンピュータを指定されたケーブルに接続し、プロジェクターから正常に投影されることを必ずご確認願います。接続は今年の日本文化学会春季年会の方法に準じて行います。(http://csj.jp/nenkai/88haru/2-8.html) また、LCD プロジェクターの試写室を設けますので御利用下さい。
- 3) 機材にトラブルが発生し、講演開始 1 分以内に復旧しない場合には、OHC (書画カメラ) での発表に切り替えていただきます。**必ず講演原稿を紙出力したものをご用意ください。** (A4 普通紙 (横))
- 4) 1 講演あたりの時間は、講演 15 分、討論・交代時間 5 分の計 20 分です。時間厳守でお願いします。

* コンピュータの故障などに備えて、発表原稿ファイルを USB メモリ、CDROM 等の一般的なメディアにバックアップしてご持参下さい。

《3》ポスター発表

- 1) ポスターは 11:00 から 12:30 の間に掲示して下さい。
- 2) 会場には **110 cm (幅) × 180 cm (床からの高さ) のポスターパネル**を用意致します。事務局で用意する講演番号掲示エリア以外のレイアウトは各自で工夫して下さい。ポスター掲示に必要なピン類は事務局で用意します。**ポスター賞に応募された方は、会場受付にてポスター賞審査のための識別マークをお受け取りの上、必ず掲示してください。**
- 3) ポスター賞に応募された方は発表時間帯(12:50~14:50)の間に審査を行いますので、この間ポスターの前を離れないでください。審査時に不在の場合は、審査の対象となりません。その他の発表者は、講演番号の末尾が奇数の場合は 12:50~13:50、偶数の場合は 13:50~14:50 を説明・発表に充てて下さい。
- 4) ポスターは発表終了後直ちに撤去願います。16:00 以降は委員会にて撤去します。

